

Julabo Case Study

18

JULABO PRESTO® A40

5リットルのガラス反応容器を用いて、+150°Cから+25°Cまでの冷却運転を実施。



目的

5 Lのガラス製反応容器を用いて JULABO PRESTO A40 の冷却試験を実施しました。A40 は 2.0 m の金属チューブ 2本を介して反応容器に接続されています。

A40 は+150°Cから+25°Cの範囲でプログラムされています。

テスト条件

製品型式	JULABO Presto A40
冷却能力	+20 ° C 1.2 kW 0 ° C 0.9 kW -20 ° C 0.6 kW
ヒーター能力	2.7 kW
帯域制限	なし
吐出圧	0.40 bar
循環液	JULABO Thermal HL40
反応容器	5L ガラス製反応容器 (Rettberg社製) 内部を JULABO Thermal HL40 5L で満たす
温度制御	外部制御(ICC)

環境

室温	+20°C
湿度	45%
電圧	230 V / 50 H z



テスト結果

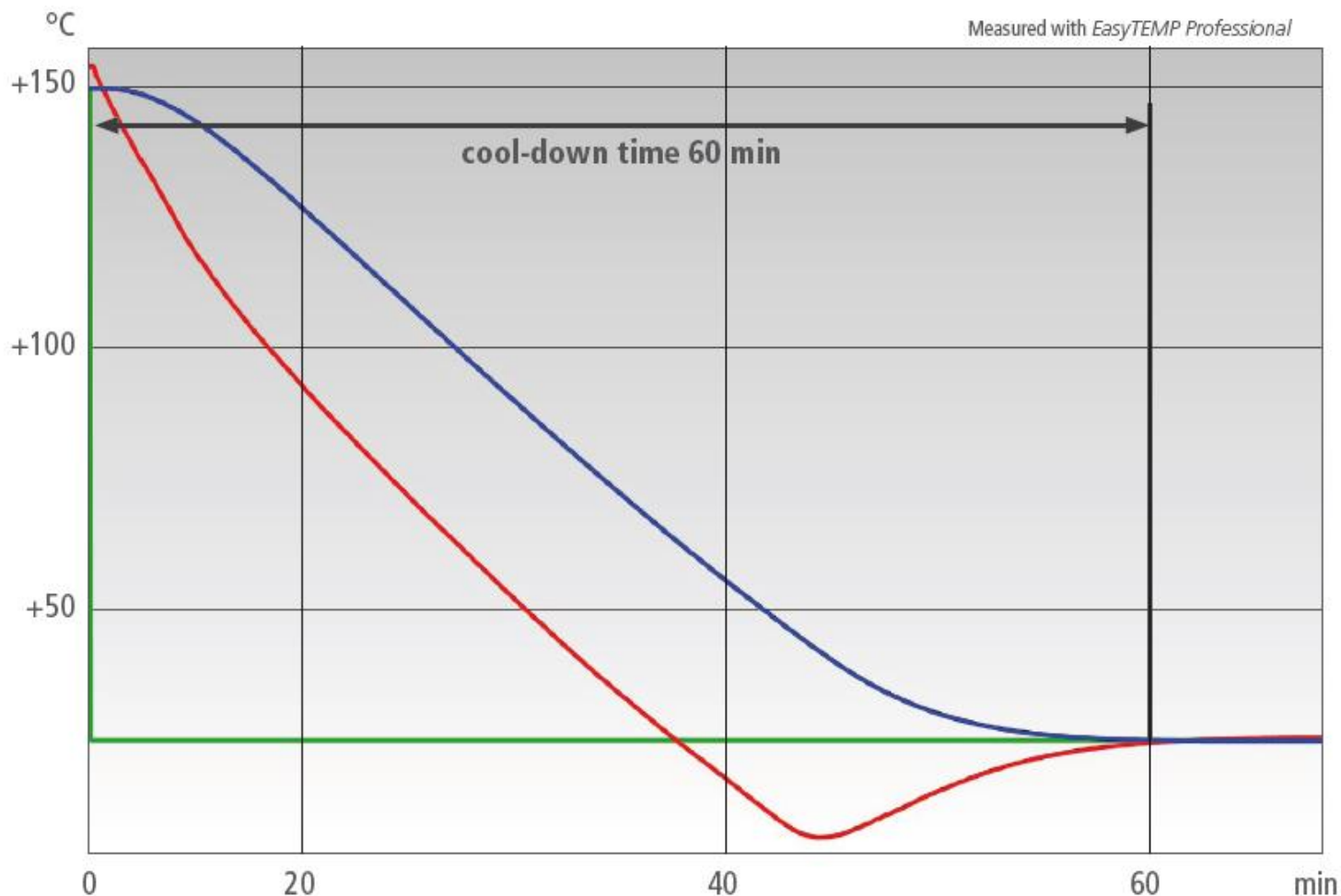
次ページのグラフを参照してください。

A40 は冷却制御において+150°Cから+25°Cまでオーバーシュートすることなく 1 時間で到達しました。

特徴

PTFE コーティングされた Pt100 センサーが使用可能です。





- Setpoint 設定温度
- Temperature in reactor's interior 反応容器内の温度
- Temperature in reactor's jacket ジャケット温度

特徴

吐出圧力を任意の数値にて制御します。プレストでは希望する圧力にて設定することが可能です。



特徴

プレストではイーサネットインターフェースを使ってすべての操作へアクセスする機能を有しています。

